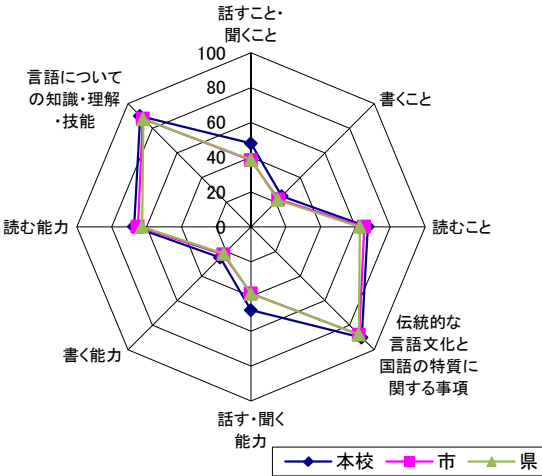


宇都宮市立海道小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	47.9	38.3	38.5
	書くこと	25.0	22.3	21.9
	読むこと	67.2	65.0	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	90.0	87.8	87.5
観点	話す・聞く能力	47.9	38.3	38.5
	書く能力	25.0	22.3	21.9
	読む能力	67.2	65.0	62.5
	言語についての知識・理解・技能	90.0	87.8	87.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は県と比べて9.4ポイント高い。 ○考えの共通点や相違点を整理しながら聞くことと考えるの根拠を示しながら筋道を立てて話すことができる。学校全体で学級活動を中心にして各教科で話し合い学習を推進している成果であると考えられる。	・今後も授業の中に話し合い学習を意図的に取り入れ、意見の根拠を明確にして話す習慣や友達の意見の共通点や相違点を正確に聞く習慣が更に身に付くようにする。
書くこと	平均正答率は県とほぼ同じである。 ○文章構成を意識し、内容を工夫してリーフレットを作ることができる。個々の学習状況を把握し、丁寧に指導してきた成果であると考えられる。	・今後もリーフレットを書く際には、収集した情報から文章構成や内容を工夫して書くことを活用し学習を進めていく。また、リーフレットの目的にそった情報収集を行い、書くことへの意欲が高まるよう丁寧に指導する。
読むこと	平均正答率は県と比べて4.7ポイント高い。 ○書くこととすることを文章から読み取り、明確にして書くこと及び文章を読んで考え、まとめたことを発表し合うことができる。説明文や物語の読み取りに際し、話し合い学習を行い、意見を述べ合いながら学習を進めてきた成果であると考えられる。	・今後も読み取りの中に話し合い学習を取り入れ、学級全員で読み取り、まとめる学習を進めることで内容の理解が図れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は県とほぼ同じである。 ○漢字辞典の使い方がよくできている。音訓、部首、総画さくいのそれぞれの引き方で丁寧に指導してきた成果であると考えられる。 ●漢字の読み書きに個々の習熟度の差が見られる。	・今後も授業の中で漢字辞典を意図的に使用し、その使い方の定着が図れるようにする。 ・これまで学んできた漢字を朝の学習や家庭学習で復習し、個別に指導するなどして全員が習得できるよう丁寧に指導する。